

JICA中国(倉敷)

1月27日(日)

帰国報告会を開催 「モザンビーク教員養成校で パソコン技術を教える」

倉敷市で地元出身の海外協力隊員の帰国報告会を実施する。今回の報告者は、アフリカ大陸南東部に位置するモザンビークにPCインストラクターとして派遣された岡あゆみさん。現地の小学校教員養成校で、IT分野の授業や校内のコンピューター管理支援などを行ってきた。言語や文化の違いを乗り越えて現地の人々と過ごした2年間の体験を報告する。アフリカ産のコーヒーやナッツの提供もあり、楽しく国際理解を深められる。



●青年海外協力隊 帰国報告会
日時：2019年1月27日(日) 10:00～11:30
会場：ライフパーク倉敷1階 中ホール
岡山県倉敷市福田町古新田940
参加費無料、要事前申し込み、定員50名(先着順)。
申し込み期限：2019年1月23日(水)
申し込み、詳細は、JICA中国ウェブサイトへ。



JICA北海道(札幌)

1月19日(土)、2月3日(日)

TICAD7に向けて映画上映会開催



2019年8月に横浜市で開催される第7回アフリカ開発会議(TICAD7)を前に、アフリカの問題に取り組む人々のドキュメンタリー映画の無料上映会が開かれる。第1回目は、2018年のノーベル平和賞を受賞したコンゴ人婦人科医、デニムクウェゲの命がけの活動を追った『女を修理する男』、第2回目は、カカオ生産地の児童労働の実態と向き合う学生たちの活動を伝える『バレンタイン一揆』を上映する。映画の解説やトークイベントなども同時開催予定。

●TICAD7関連イベント①
映画「女を修理する男」無料上映会
日時：2019年1月19日(土) 17:45～20:00(17:30開場)
会場：札幌市教育文化会館4階講堂
北海道札幌市中央区北1条西13丁目
*ショッピングな内容が含まれるため、参加者は15歳以上に限る。

●TICAD7関連イベント②
映画「バレンタイン一揆」無料上映会
日時：2019年2月3日(日) 14:00～16:30(13:30開場)
会場：サッポロプラザ2・5
北海道札幌市中央区南2条西5丁目
各日定員150名。
申し込み、問い合わせ：JICA北海道(札幌)市民参加協力課
電話番号：011-866-8421 Eメール：hkictp@jica.go.jp

1月27日(日)

オリジナル万華鏡ワークショップ

ふだん何気なく捨ててしまっているペットボトルやお菓子の袋などのごみを、リサイクルしてすてきなおもちゃに! ワークショップでは、地球ひろばのガイド「地球案内人」の2人が、バングラデシュのごみ問題について解説する。話の後は、参加者みなでのごみを材料にした万華鏡づくりを体験する。

●小学生対象 くるくるリサイクル!
日時：2019年1月27日(日) 14:00～16:00
会場：JICA市ヶ谷ビル1階 市民のひろば(体験ゾーン内)
東京都新宿区市谷本村町10-5
参加費無料、要事前申し込み、定員30名。
定員になり次第締め切り。申し込み、詳細は、JICA地球ひろばウェブサイトへ。



JICA地球ひろば(市ヶ谷)



JICA関西(神戸)

2月4日(月)、5日(火)、6日(水)

途上国での プロジェクトのつくりかた



プロジェクトマネジメント手法の理解は、事業を円滑、効果的に実施するための近道。JICA関西は、NGO・NPOや、大学、民間企業、自治体などに向けて、草の根技術協力事業を含む国際協力事業のプロジェクトの形成とマネジメントについての研修を実施する。研修は基礎編1日、実用編2日の3日間。オプションとして、希望者を対象に講師による個別相談の時間も設けている(受講要件あり)。

●事業マネジメント研修(基礎編及び実用編)
～途上国でのプロジェクトのつくりかた～
日時：基礎編 2019年2月4日(月) 9:30～18:00
応用編 2019年2月5日(火)、6日(水) 9:30～18:00
会場：JICA関西
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
参加費無料、要事前申し込み、各定員20名程度。
申し込み期限：2019年1月21日(月) 17:00
申し込み資格など、詳細はJICA関西ウェブサイトへ。



JICA九州(福岡)

1月26日(土)

国際キャリアフォーラムin福岡

国際キャリアを形成していきたいと考える若い人や海外での事業展開を図りたい企業を対象に、新興国・途上国の魅力やビジネスの可能性を紹介するフォーラムを開催する。現地で事業を行っている企業や団体、若いリーダーから、海外を目指したきっかけなどについて「生の声」を聞くことができる貴重な機会。JICAの国際キャリア総合プラットフォーム「PARTNER」の活用方法を紹介する個別相談も同時開催する。

●国際キャリアフォーラム in 福岡
日時：2019年1月26日(土) 13:00～18:00
会場：Fukuoka Growth Next イベントスペース
福岡県福岡市中央区大名2-6-11
参加費無料。要事前申し込み、先着100名(予定)、定員に達し次第締め切り。
申し込み、イベント詳細は「PARTNER」へ。



1月30日(水)

「南米のゲートウェイ=日系社会」 から拓く6億人の“食”市場

中南米では日本からの移住者によって「日系社会」が形成され、多くの日系人が経済を牽引している。今回、「食」に関する日系人のビジネスリーダー12人を5か国から招いて、ビジネスの可能性を検討するセミナーを開催するとともに、九州企業とのビジネス交流会を実施する。

●南米ビジネスセミナー
日系人ビジネスリーダー交流会
日時：2019年1月30日(水) 14:00～17:00
会場：エルガーラホール 中ホール
福岡県福岡市中央区天神1-4-2
参加費無料。要事前申し込み、先着50名、定員に達し次第締め切り。申し込み、イベント詳細はJICA九州ウェブサイトへ。



©RYOT Films

2018年/アメリカ/95分
監督：アレクサンドリア・ボンパッハ
公開：2019年2月1日(金)、アップ
ブリンク吉祥寺より全国順次ロード
ショー。

残された同胞と世界中の性暴力被害者のため、苦しみながらも痛ましい体験をくり返し訴え続けるナディア。カメラは数々の困難に辛抱強く立ち向かっていく彼女の姿を追いかけた。

『わたしは13歳、シリア難民。』故郷が戦場になった子どもたち』
シリア紛争が始まって7年。故郷を追われたシリアの人々は、国内外で1100万人にも上るといわれている。本書は2013年以降、シリアの隣国ヨルダンの難民キャンプ内外で支援活動を行ってきたNPO「国境なき子どもたち」のスタッフが出会った、難民の子どもたちの暮らしぶりを紹介するもの。

ヨルダンで避難生活を送る子どもたちの多くは、町が爆撃されるなど私たちの想像を絶する経験をしている。しかし、本書に詰まっているたくさんのエピソードは、彼らが学校で友だちとサッカーで遊んだり、先生にやさしい言葉をかけてもらい喜んだり、作業を楽しんだりしながら将来を夢見る、ふつうの子どもたちであることを教えてくれる。

現地から届けられた、子どもたち一人一人のメッセージが、遠く離れた『シリア難民』を身近な存在に感じさせる。

国境なき子どもたち著
合同出版
1512円(税込)

MOVIE 『ナディアの誓い —On Her Shoulders—』

2018年ノーベル平和賞受賞者、ナディア・ムラドの決意と闘いの記録。

少数民族、ヤンディ教徒のナディア・ムラドは、2014年8月までイラク北部の小さく静かな村で家族と幸せに暮らしていた。しかし、IS(イスラム国)がやって来て虐殺が始まった。それだけではない。捕まった女性は戦利品として売買や交換の対象となった。ナディアたちも捕らえられ、母親と6人の兄弟は殺されてしまった。彼女は性的奴隷として扱われ、3か月後に脱出。ドイツに逃れ、15年12月の国連安保理でISによる凄惨な暴力の実態を証言した。

読者プレゼント
詳細はp.38へ



BOOK 『わたしは13歳、シリア難民。』故郷が戦場になった子どもたち』

『わたしは13歳、シリア難民。』故郷が戦場になった子どもたち』
シリア紛争が始まって7年。故郷を追われたシリアの人々は、国内外で1100万人にも上るといわれている。本書は2013年以降、シリアの隣国ヨルダンの難民キャンプ内外で支援活動を行ってきたNPO「国境なき子どもたち」のスタッフが出会った、難民の子どもたちの暮らしぶりを紹介するもの。